

第 11 回腫瘍病理セミナー

第 19 回大学院医学研究セミナー

インフルエンザウイルス と 次世代ワクチン

国立感染症研究所 感染病理部 部長
長谷川秀樹

略歴：

93 年北海道大学医学部卒業、97 年北海道大学大学院医学研究科博士課程修了。その間、95 年～97 年米国ロックフェラー大学、及びアイルランド、ユニバーシティ・カレッジ・ダブリンに留学。その後、97 年から国立感染症研究所感染病理部研究員、2002 年から同主任研究官、03 年から同室長、09 年より現職。

専門：病理学・ウイルス学（HTLV-1, インフルエンザ）



毎年のように流行を繰り返すインフルエンザ。これまでのインフルエンザワクチンでは重症化を防ぐことが出来ても、感染そのものを阻止することは出来ません。長谷川先生は初期感染を防ぐワクチンの開発に挑戦しています。

次世代ワクチンとはどのようなものなのでしょう？

そもそもワクチンとは生体のどのような免疫応答を利用しているのでしょうか？

日時：10月10日（木） 18時から
金沢医科大学病院 新館 12階 大会議室

病理学 | 清川 kiyokawa@kanazawa-med.ac.jp 内線 3611